

関係者各位

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので、結果を送付いたします。

検鏡の結果、赤潮発生の原因種であるプロロセントラム属が最大3.0細胞/ml確認されました。

また、麻痺性貝毒の原因種であるアレキサンドリウム属が最大6600細胞/ml、ギムノディニウム カテナータムが最大31細胞/ml確認されました。現在、宿毛湾内の広い範囲において、当プランクトンで構成される赤潮が発生している可能性があります。そのため、海産二枚貝の摂食は自粛をお願いいたします。

今後、飼育魚や海色等に異常が確認された場合は、海水をペットボトル等で採集し、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡下さい。

採集地点 採水時間	水深	水温	塩分	溶存酸素	プロロセントラム属	アレキサンドリウム属	ギムノディニウム カテナータム
	(m)	(℃)	(psu)	(mg/l)	(細胞/ml)		
藻津①(別図⑨) 採水時間 09:16 透明度 - m	0.0	17.3	34.4	6.8	3	30	0
大島中央①(別図⑤) 採水時間 09:26 透明度 - m	10.0	17.6	34.5	5.7	0	18	0
小筑紫中央①(別図⑬) 採水時間 09:36 透明度 - m	0.0	17.7	34.5	6.8	0	25	0
白浜付近(別図④と⑫の間) 採水時間 9:48 透明度 - m	5.0	17.8	34.5	7.2	0	453	31
栄喜奥(別図②) 採水時間 10:02 透明度 - m	3.0	16.6	33.5	9.1	0	2,700	0
青瀬山(別図③) 採水時間 10:13 透明度 - m	2.0	17.8	34.1	9.6	0	4,700	0
大海(別図①～④の間) 採水時間 10:21 透明度 - m	0.0	16.6	33.2	9.6	0	4,700	0
弘浦②(別図①) 採水時間 10:32 透明度 - m	1.0	-	-	-	0	6,600	0

「赤潮・貝毒プランクトンの調査について」は当所ホームページ内の

「宿毛湾赤潮情報」(URL : <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040406/akasio.html>)においてもご覧いただけます。